

## 用途ごとの方向性について(案)

## (1) 庁舎施設

(所管：管財課)

## ① 位置付け

市の行政事務全般を取り扱う施設

## ② サービス提供の方針

今後も行政として必要な市民サービスの提供を継続していきます。

## ③ 基本的な考え方

更新時の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本庁舎・南館については、統合を検討します。</li> <li>・大東支所、大須賀支所については、それぞれ他の機能との複合化を検討します。</li> </ul>
配置の考え方	都市機能の中心的機能として、都市機能誘導区域内への配置を基本に検討します。
留意事項	災害時において拠点施設となることから、防災拠点としての機能確保のため、計画的な施設の修繕・改修、設備更新を進めていきます。

## ④ 個別の建物（施設）について

※複数棟の場合、「建築年度」・「経過年数」は主な建物データによる

施設名	建築年度	経過年数	延床面積	既存建物(施設)の方向性	実施時期				
					I	II	III	IV	V
市役所本庁舎	平成7	24	16,135	建物の継続を基本とし、市役所南館との統合を検討。				◇	
市役所南館	平成16	15	960	将来的に市役所本庁舎への統合を検討。				◇	
大東支所	昭和63	31	3,664	教育センター等との複合施設であり、周辺施設との更なる複合化を検討。	☆				
大須賀支所	平成19	12	1,980	大須賀市民交流センターとの複合施設であり、周辺施設との更なる複合化を検討。	☆				

◎：建替え ○：大規模改修 ◇：統合 ☆：複合化 △：廃止 □：譲渡

## (2) 消防施設

(所管：消防総務課)

### ① 位置付け

火災、水害その他の災害から市民の生命、身体及び財産を保護するために消防本部が行う警防施策、警防活動態勢及び警防活動の拠点となる施設

### ② サービス提供の方針

今後も市民にとって必要な消防・救急サービスの提供を継続していきます。

### ③ 基本的な考え方

更新時の方向性	継続を基本とし、適切な時期に改修を行うことで長寿命化を図ります。
配置の考え方	現在の2本署、1分署の配置を基本としつつ、効率的かつ効果的な資機材・人員の配置を行います。
留意事項	将来的には、消防の広域化を視野に入れて検討していきます。

### ④ 個別の建物（施設）について

※複数棟の場合、「建築年度」・「経過年数」は主な建物データによる

施設名	建築年度	経過年数	延床面積	既存建物(施設)の方向性	実施時期				
					I	II	III	IV	V
中央消防署	平成28	3	3,636	機能の継続を基本として、大規模改修による長寿命化を検討。			○		
南消防署	平成16	15	762	機能の継続を基本として、大規模改修による長寿命化を検討。		○			
中央消防署西分署	平成2	29	487	機能の継続を基本として、大規模改修による長寿命化を検討。	○				

◎：建替え ○：大規模改修 ◇：統合 ☆：複合化 △：廃止 □：譲渡

### (3) 環境・衛生施設

(所管：環境政策課、下水道課)

#### ① 位置付け

生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るための施設

#### ② サービス提供の方針

市民にとって必要不可欠な機能であり、今後も生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るサービスの提供を継続していきます。

#### ③ 基本的な考え方

更新時の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全センター、一般廃棄物最終処分場（板沢）については、施設を解体し、廃止します。</li> <li>・生物循環パビリオン（衛生センター）と一般廃棄物最終処分場（新井）については、継続を基本とし、適切な時期に改修を行うことで長寿命化を図った上で、更新（建替え）します。</li> </ul>
配置の考え方	それぞれの機能を勘案し、適正に配置します。
留意事項	

#### ④ 個別の建物（施設）について

※複数棟の場合、「建築年度」・「経過年数」は主な建物データによる

施設名	建築年度	経過年数	延床面積	既存建物（施設）の方向性	実施時期				
					I	II	III	IV	V
環境保全センター	平成6	25	3,791	平成19年度末に施設閉鎖しており、今後海岸防災林工事の進捗に合わせて施設の解体を検討。	△				
生物循環パビリオン（衛生センター）	平成5	26	2,980	機能の継続を基本として、大規模改修による長寿命化を検討。	○				
一般廃棄物最終処分場（板沢）	昭和62	32	226	平成30年度末に搬入終了しており、今後最終覆土工事等を経て施設を廃止し、借地返還を検討。	△				
一般廃棄物最終処分場（新井）	平成8	23	366	機能の継続を基本として、大規模改修による長寿命化を検討。	○				

◎：建替え ○：大規模改修 ◇：統合 ☆：複合化 △：廃止 □：譲渡

#### (4) 住宅施設

(所管：都市政策課)

##### ① 位置付け

住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸することにより、住生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的とする施設

##### ② サービス提供の方針

現在は単身の高齢者や障がい者、外国人、一人親世帯等の入居希望が多く、セーフティネットの要素が高くなっています。居住者の高齢化が進んでおり、高齢者を中心に住居確保のニーズは高まると推測されるため、必要な戸数を確保していきます。

##### ③ 基本的な考え方

更新時の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 居住誘導区域外の住宅については、居住誘導区域内の住宅との統合を検討します。</li> <li>・ 独居世帯の要素が高まっているため、戸当たりの面積を減らしながら必要戸数を確保します。</li> </ul>
配置の考え方	居住誘導区域内への配置を基本に検討します。
留意事項	

##### ④ 個別の建物（施設）について

※複数棟の場合、「建築年度」・「経過年数」は主な建物データによる

施設名	建築年度	経過年数	延床面積	既存建物(施設)の方向性	実施時期				
					I	II	III	IV	V
宮脇第2団地	平成元	30	2,187	原川団地、仁藤団地との統合を検討。				◇	
原川団地	平成3	28	2,762	宮脇第2団地、仁藤団地との統合を検討。				◇	
和田団地	昭和50	44	1,425	吉岡団地、大池第3～6団地、十九首団地との統合を検討。		◇			
吉岡団地	昭和51	43	5,167	和田団地、大池第3～6団地、十九首団地との統合を検討。		◇			
大池第3団地	昭和54	40	810	和田団地、吉岡団地、大池第4～6団地、十九首団地との統合を検討。		◇			
大池第4団地	昭和55	39	1,176	和田団地、吉岡団地、大池第3、5～6団地、十九首団地との統合を検討。		◇			
大池第5団地	昭和59	35	834	和田団地、吉岡団地、大池第3～4、6団地、十九首団地との統合を検討。		◇			
大池第6団地	昭和60	34	1,251	和田団地、吉岡団地、大池第3～5団地、十九首団地との統合を検討。		◇			

施設名	建築年度	経過年数	延床面積	既存建物(施設)の方向性	実施時期				
					I	II	III	IV	V
原谷第2団地	平成18	13	5,803	他団地(相手不明)との統合を検討。					◇
千浜西団地	平成16	15	3,296	三俣団地との統合を検討。		◇			
三俣団地	昭和48	46	3,825	早期に減築した上で、千浜西団地との統合を検討。	減築	◇			
沢上団地	昭和59	35	623	暦団地との統合を検討。			◇		
暦団地	平成元	30	846	沢上団地との統合を検討。			◇		
住環境整備事業モデル住宅仁藤団地	平成元	30	2,233	宮脇第2団地、原川団地との統合を検討。				◇	
再開発住宅十九首団地	昭和55	39	2,746	吉岡団地、和田団地、大池第3～6団地との統合を検討。		◇			

◎：建替え ○：大規模改修 ◇：統合 ☆：複合化 △：廃止 □：譲渡

## (5) 文化ホール

(所管：教育政策課、文化・スポーツ振興課)

### ① 位置付け

市民の芸術及び文化の向上を図るための施設

### ② サービス提供の方針

全市的な視点に立って、広域利用も視野に入れ、適切な規模と配置を検討した上でホール機能を提供していきます。

### ③ 基本的な考え方

更新時の方向性	市内に複数あるホール機能について、規模の見直し及び統合を検討します。
配置の考え方	広域的な連携も含め、適切な配置や規模を検討します。
留意事項	公民連携の拡大などにより、利用者増や経営効率化を図る必要があります。

### ④ 個別の建物（施設）について

※複数棟の場合、「建築年度」・「経過年数」は主な建物データによる

施設名	建築年度	経過年数	延床面積	既存建物(施設)の方向性	実施時期				
					I	II	III	IV	V
大須賀中央公民館	昭和56	38	3,062	大須賀支所周辺施設との複合化を検討。	☆				
生涯学習センター	昭和57	37	6,833	美感ホール、文化会館シオーネとの統合を検討。				◇	
美感ホール	平成3	28	906	生涯学習センター、文化会館シオーネとの統合を検討。				◇	
文化会館シオーネ	平成10	21	5,175	生涯学習センター、美感ホールとの統合を検討。				◇	

◎：建替え ○：大規模改修 ◇：統合 ☆：複合化 △：廃止 □：譲渡

## (6) 社会教育施設

(所管：図書館、文化・スポーツ振興課、健康医療課)

### ① 位置付け

市民の教育及び文化の発展に寄与する施設

### ② サービス提供の方針

図書館機能として、市民に対し、図書の閲覧・貸出のサービスを継続して提供していきます。また、美術・偉人・歴史に関する知識に触れられる場を提供していきます。

### ③ 基本的な考え方

更新時の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館及び美術館・記念館については、機能の継続を基本として検討します。</li> <li>・大須賀歴史民俗資料館については、他施設への複合化を検討します。</li> </ul>
配置の考え方	図書館については、区域ごとの設置を基本に検討します。
留意事項	更新時には、利用状況と利用圏域を勘案しながら統合などの可能性も含め検討する必要があります。

### ④ 個別の建物（施設）について

※複数棟の場合、「建築年度」・「経過年数」は主な建物データによる

施設名	建築年度	経過年数	延床面積	既存建物（施設）の方向性	実施時期				
					I	II	III	IV	V
中央図書館	平成12	19	4,732	機能の継続を基本として、大規模改修による長寿命化を検討。		○			
大東図書館	平成19	12	3,650	機能の継続を基本として、大規模改修による長寿命化を検討。		○			
大須賀図書館	平成2	29	1,119	大須賀支所周辺施設との複合化を検討。	☆				
二の丸美術館	平成9	22	988	機能の継続を基本として、大規模改修による長寿命化を検討。	○				
ステンドグラス美術館	平成27	4	227	機能の継続を基本として、大規模改修による長寿命化を検討。			○		
吉岡彌生記念館	平成10	21	947	機能の継続を基本として、大規模改修による長寿命化を検討。	○				
大須賀歴史民俗資料館	平成4	27	544	他施設への複合化を検討。	☆				

◎：建替え ○：大規模改修 ◇：統合 ☆：複合化 △：廃止 □：譲渡

## (7) 文化施設

(所管：文化・スポーツ振興課)

### ① 位置付け

文化財を保存及び活用するとともに、歴史文化的価値を顕彰し、もって市民文化の発展に寄与するための施設

### ② サービス提供の方針

市の歴史を示す貴重な文化施設として、保存・活用を図っていきます。

### ③ 基本的な考え方

更新時の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>掛川城天守閣及び掛川城御殿などの文化財は、必要に応じ長寿命化を検討し、保存・活用していきます。</li> <li>湧水亭については、茶室部分の廃止及び清水邸本宅との一体的管理を検討します。</li> </ul>
配置の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>掛川城天守閣及び掛川城御殿などの文化財は、現在の位置にあることが必要な施設であり、現在の配置を維持します。</li> <li>公共茶室は集約化を検討します。</li> </ul>
留意事項	民間事業者による利活用や集客力の向上による経営改善を図る必要があります。

### ④ 個別の建物（施設）について

※複数棟の場合、「建築年度」・「経過年数」は主な建物データによる

施設名	建築年度	経過年数	延床面積	既存建物（施設）の方向性	実施時期				
					I	II	III	IV	V
掛川城天守閣	平成5	26	357	機能の継続を基本として、大規模改修による長寿命化を検討。	○				
掛川城御殿	安政7	159	932	文化財として、保存・活用。					
二の丸茶室	平成13	18	185	機能の継続を基本として、大規模改修による長寿命化を検討。		○			
竹の丸	明治36	116	881	文化財として、保存・活用。					
埋蔵文化財センター	昭和58	36	1,170	ごみ焼却場の建物を転用した施設であり、適切な規模に減築を検討。			減築		
山崎家住宅（松ヶ岡）	安政3	163	1,153	文化財として、保存・活用。					
湧水亭（清水邸庭園）	平成3	28	100	有効利用に向けた統合を検討。	◇				

◎：建替え ○：大規模改修 ◇：統合 ☆：複合化 △：廃止 □：譲渡



## (8) スポーツ施設

(所管：文化・スポーツ振興課)

### ① 位置付け

スポーツの振興を図るとともに、市民の健康及び体力を増進させるための施設

### ② サービス提供の方針

スポーツ施設と学校施設のスポーツ利用の両面から検討し、市民の健康増進に向けて必要なサービスを提供します。

### ③ 基本的な考え方

更新時の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>掛川海洋センターの体育館、大須賀運動場、大須賀海洋センタープールについては、廃止を検討します。</li> <li>大東海洋センターについては、減築(一部廃止)を検討します。</li> </ul>
配置の考え方	利用状況と利用圏域を勘案し、総量及び配置を検討します。
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>更新時には、利用状況と利用圏域を勘案しながら統合などの可能性も含め検討する必要があります。</li> <li>学校施設の体育館やグラウンドなどの配置・施設開放の状況をもとに、配置を検討する必要があります。</li> </ul>

### ④ 個別の建物（施設）について

※複数棟の場合、「建築年度」・「経過年数」は主な建物データによる

施設名	建築年度	経過年数	延床面積	既存建物(施設)の方向性	実施時期				
					I	II	III	IV	V
東遠カルチャーパーク総合体育館「さんりーな」	平成15	16	10,578	機能の継続を基本として、大規模改修による長寿命化を検討。		○			
南体育館「し～すぼ」	平成25	6	3,420	機能の継続を基本として、大規模改修による長寿命化を検討。			○		
下垂木多目的広場「ゆうゆうパーク」	平成12	19	43	機能の継続を基本として、大規模改修による長寿命化を検討。		○			
いこいの広場	平成8	23	1,597	機能の継続を基本として、大規模改修による長寿命化を検討。	○				
安養寺運動公園	平成2	29	530	機能の継続を基本として、大規模改修による長寿命化を検討。	○				
大東総合運動場	平成13	18	1,541	機能の継続を基本として、大規模改修による長寿命化を検討。		○			

施設名	建築年度	経過年数	延床面積	既存建物(施設)の方向性	実施時期				
					I	II	III	IV	V
大東北運動場	平成2	29	168	機能の継続を基本として、大規模改修による長寿命化を検討。	○				
大須賀運動場	昭和53	41	73	老朽化に伴い、建物の寿命を迎える時期を目途に廃止。		△			
大須賀海洋センタープール	昭和61	33	1,010	老朽化に伴い、建物の寿命を迎える時期を目途に廃止。			△		
掛川海洋センター	昭和56	38	1,302	老朽化に伴い、建物の寿命を迎える時期を目途に廃止。			△		
大東海洋センター	平成4	27	450	適切な規模に減築を検討。	減築				

◎：建替え ○：大規模改修 ◇：統合 ☆：複合化 △：廃止 □：譲渡